

EVENT REPORT

第2回全国「山の日」フォーラム 事業報告書

第2回全国「山の日」フォーラム実行委員会

2017.5.25

WHY ARE WE CLIMBING THIS MOUNTAIN?

そもそもなぜ、我々はこのフォーラムを開催するのか。

私たちは、「山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する」をその趣旨とする新たな国民の祝日として「山の日」を制定すべく努力を重ね、「山の日」は2016年8月11日から祝日として施行されることとなりました。

この「山の日」を、山が心と身体の健康に欠くことのできない国民の財産であることを一人ひとりが再認識し、山と自然が抱える課題を考える場となることを目的に、このイベントを開催することといたしました。

第2回全国「山の日」フォーラム実行委員会
一般財団法人全国山の日協議会
会長 谷垣 禎一

OUR MISSION

山はいま多くの課題を抱えています。地域の活性化、森林の荒廃抑止、良質な水源・資源等の確保、諸開発と環境保全、観光等による地域振興と適正利用、動植物の保護と適正管理、登山者の山岳遭難事故や自然災害への対策、子どもたちの自然体験機会の創出、新たな雇用機会の創出など、将来を見据える「山」への展望が求められています。

2015年3月の第1回全国「山の日」フォーラムに続き、このフォーラムがこれら山積する課題の解決へ向けての重要な契機に結びつくこと。

これが我々のミッションです。

これからもこうした課題提起の場を継続的に開催し、国民の誰もが「山を考え」、その成果として「山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する」ことができることを願っています。

OUR OPERATION

このフォーラムは、次の3つの手段を有機的に関連させて展開されました。

シンポジウム

行政・民間・有識者のそれぞれの立場から、山と自然に関する各種課題を提起し、さらにパネルディスカッションにより有機的な取り組みを模索し、継続的な議論の契機とします。

トークショー

アルピニスト・山岳ガイド・ライター・女優・文化人らによるトークショーによって、山にまつわる多様なアミューズメント、スポーツとしての山の可能性、文化としての山の読み解きなどを模索します。

出展ブース

日比谷公園で同日開催の「みどりとふれあうフェスティバル」を連携イベントとして位置づけ、広大なスペースに、行政、企業、関係団体によって構成される「山の日ゾーン」を設け、サービス・商品・情報・地域のアピールを発信し、併せて、「山の日」に伴う経済波及効果を検証します。

EVENT OVERVIEW 受講者526名

- **事業名称**
第2回全国「山の日」フォーラム
- **会場**
東京国際フォーラム 《ホールD7》
- **開催日**
2017年5月13日(土)～5月14日(日)
- **主 唱**
一般財団法人全国山の日協議会
- **主 催**
第2回全国「山の日」フォーラム実行委員会
【構成団体】一般財団法人全国山の日協議会
警察庁 消防庁 文部科学省 スポーツ庁 林野庁 国土交通省 観光庁 環境省
- **後 援**
朝日新聞社 毎日新聞社 日本経済新聞社 東京新聞 NHK 共同通信社
日本山岳・スポーツクライミング協会 日本山岳会 日本勤労者山岳連盟 日本山岳ガイド協会
- **特別協賛**
味の素株式会社 日清食品ホールディングス株式会社 (一般財団法人全国山の日協議会オフィシャルパートナー)

EVENT ITINERARY

5月13日(土)

パート1 山と自然 ～山の安全と山岳遭難救助～ 10:30-12:10

1. 長野県の遭難救助の現場から
2. 那須高校生雪崩遭難事故 それからを考える
3. ヘリコプターによる会員制捜索サービスの試み
4. パネルディスカッション

宮崎茂男(前 長野県警察山岳救助隊長)
萩原浩司(日本山岳会「山の日」事業委員長)
久我一総(AUTHENTIC JAPAN株式会社代表取締役)
コーディネーター 飯田年穂(明治大学教授)

パート2 山と自然 ～林業 環境と循環から地域社会の活性化へ～ 12:45-14:35

1. 信州の林業家として
2. 岩手の林業家として
3. 丹沢の林業家として
4. パネルディスカッション

熊崎一也(株式会社信州樵工房代表取締役)
小泉信太郎(林業会社社員)
富田陽子(NPO法人共和のもり)
コメンテーター 今泉裕治(林野庁森林整備部森林利用課山村振興・緑化推進室長)
コーディネーター 武川俊二(丹沢森の仲間たち 副理事)

パート3 山と自然 ～たくましい子供たちを育む～ 15:10-17:00

1. ロングトレイルの活用を考える
2. 成城学園中学校の登山と安全
3. 初中等教育における自然体験学習
4. パネルディスカッション

山田俊行(トヨタ自然学校校長)
久保昌之(成城学園高等学校教諭)
坪田知広(文部科学省初等中等教育局児童生徒課長)
コーディネーター 中村 達(日本ロングトレイル協会 代表理事)



一般財団法人
全国山の日協議会

パート4 百万人の山と自然 安全のための知識と技術 公開講座 10:30-12:10

このパートは公益社団法人日本山岳ガイド協会と独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所が共催する「公開講座」です。

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1. 山と自然の安全のための心構え | 小林千穂(山岳ライター・山の日アンバサダー) |
| 2. 那須岳の遭難事故から ~それでも山と自然は子供たちを育む~ | 野口 健(アルピニスト・山の日アンバサダー) |
| 3. エベレスト登山から得たもの | 伊藤 伴(登山家・山の日アンバサダー) |

パート5 山と自然 ~登山道を考える~ 12:50-14:30

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1. 国立公園の登山道を考える | 野川裕史(環境省自然環境局鳥獣保護管理室 鳥獣専門官) |
| 2. 防災、遭難防止の観点からの登山道 | 大蔵喜福(NPO法人山の自然学クラブ理事長) |
| 3. スマート山岳道標の実験とこれから | 荒金善一(公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団事務局次長) |
| 4. パネルディスカッション | コーディネーター 松沢貞一(株式会社白馬館社長) |

パート6 山と自然 ~山岳科学から持続可能な日本を創生する~ 15:00-16:50

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 1. 山の自然-森林の多様性を守る | 津村義彦(筑波大学) |
| 2. 山の恩恵-山から海への物質の流れ | 岩田智也(山梨大学) |
| 3. 山の脅威-土砂災害の恐ろしさと対策 | 今泉文寿(静岡大学) |
| 4. 山の文化-山小屋の建築史 | 梅干野成央(信州大学) |
| 5. パネルディスカッション | コーディネーター 松岡憲知(筑波大学) 津田吉晃(筑波大学) |